



校長室だより

3学期心に残った3つのエピソード



新型コロナまん延防止等重点措置により例年より不自由さを感じた3学期でしたが、全校生徒の皆さん、先生方、保護者の皆様のご協力のお陰で、本校では学級閉鎖等の措置をすることなく、明日の卒業式を迎えることが出来ました。約3ヶ月に渡るご協力本当にありがとうございました。この様な中、今年度最後の終業式は体育館に集まり3学期を振り返って次のような話をさせていただきました。

中中文化の継続を感じた「大雪の朝」と「3年生を送る会」

おはようございます。冬休み明けから今日までの約3ヶ月、登校日数48日間の3学期も、いよいよ明日の卒業式を残すのみとなりました。3学期は新型コロナ第6波拡大から始まり、長野県のまん延防止等重点措置が1ヶ月以上続く大変厳しい学期でしたが、3年生の高校入試に向けて何とか受験体制を整えることを第1に考え過ぎした約3ヶ月となりました。全校の皆さんや保護者の皆さん、先生方の協力のおかげで、今日まで中込中では集団感染が起らず、後期受験も無事終えることができました。不自由なことも沢山あったかと思いますが、みんな乗り越えられたこと本当に嬉しく思います。さて、3学期を振り返ってみると短い期間でしたが、心に残った出来事が沢山ありました。今日はその中の3つをお話したいと思います。



1つ目は3年生のことです。3年生の3学期といえば高校入試です。先週3月9日(水)～10日(木)に行われた後期公立入試まで、この約3か月間で推薦入試、私立高校入試、公立前期選抜入試と何回かの入学試験が行われて来ました。この様な中、私が3年生と直接関わることができたのは、各入試での面接練習の場面でした。私のところへは10数人の3年生が面接練習を申し込みに来てくれました。1月下旬から約1ヶ月にわたって面接練習を行いました。どの人も自分の思いや願いをしっかりと述べ、また、入室での礼儀やあいさつなどの所作もきちんと出来ていました。更に入試が終わった後、そして合格発表が終わった後に、わざわざ校長室を訪ねて来て、お礼を述べてくれる人が何人もいました。この様に入試に向けての準備をする中で、将来に役立つ教科学習以外の大切なことを学んでいると感じました。高校入試という大きな壁を乗り越える過程で、その人自身が一回り成長した姿を目の当たりにし、大変嬉しく、また、頼もしく思いました。

2つ目は、2学期中旬に大雪が降った朝のことです。昨年度はほとんど雪が積もらず、中込中では雪かきを1回もしませんでした。今回約2年ぶりとなる大雪で、雪かき当番表も作成されていません。私は心の中で「今年初めての雪かきだけ大丈夫かな？」

<裏面に続く>

そんな気持ちでいつもより早めに学校に来ました。登校するとO先生とY先生が先に来て駐車場の雪をかいて下さっていました。それから、まず、昇降口に繋がる通路の雪かきを始めたのですが、学校に続く道路脇の歩道はすでに近所の方がかいて下さってあり感激しました。暫くするといつもよりずいぶん早い時間に2年4組のK君が登校してきました。「今日はずいぶん早いね!」と声をかけると「雪かきをしに来ました!」と答え、小走りでカバンを置きすぐに雪かきを始めてくれました。その後、2年生の学友会役員



の皆さんを中心に、1年生も3年生も、そして先生方も来た人から続々と雪かきを持ち手伝う姿が見られ、8時過ぎには給食センターの車を入れる所まで雪をかき終えることができました。

「中中の雪かき文化は脈々と続いていた!」2年ぶりにこの事実を目の当たりにし、雪かき自体は大変な作業かもしれませんが、「実は雪かきは人と人との絆を確かめる大事な機会だったんだ、この様な文化が中中には確かにある。」ということに改めて気づき、心地よい汗を流しながら感動をもらった爽やかな朝になりました。



3つ目は、昨日行われた「3年生を送る会」です。2年生の新役員の皆さんが中心となって初めて企画した大きな学友会行事でした。今年はまん延防止等重点措置期間が延長され、準備する時間が少ないなかで企画し、本当に大変だったと思いますが、全校で協力し心温まる素敵な時間を創り上げることができました。今年の3年生だからこそ、あのような温かな贈る言葉や出し物を各学年からプレゼントされたのだと思います。今年のキーワード「ワクワク」と「メリハリ」の集大成としてふさわしい、「笑い」「涙」「感動」

の1時間40分でした。「中込中の一員でよかった」と心から思えた時間でした。

最後になりましたが、3学期始業式で話した3学期のキーワードを覚えている人はいますか。3学期のキーワードは「米一粒の努力」でした。様々な出来事があった3学期でしたが「米一粒の努力」を意識しながら生活できたでしょうか。「努力」をなかなか継続できない人のためにここで何かを続けるためのヒントを教えます。それは「中3日空けない」ルールです。私もできるだけ毎朝昇降口に立って皆さんと挨拶を交わすことを日課にしていますが、急に電話がかかって来たり、出張に出かけたりと毎日必ず出来てはいません。でも「3日連続で休まない」ことだけは心がけています。こうすると続けることが苦になりませんし、結果的に今まで続けて来たことが「0」にならない安心感もあります。ぜひ毎日続けることを目標としながらも、「中3日空けない」ルールでMissionをCompleteさせましょう。

さて、明日の卒業式は昨年に引き続き在校生も参加する卒業式となります。今までの準備の成果を発揮して、3年生にとって一生に一度の思い出になる今年ならではの素晴らしい卒業式を創り上げましょう。そして、明後日からの春休みでは、気を抜かずコロナ感染予防を心がけながら、4月からの生活に備え準備をしっかりとしましょう。家の方や地域の方々と、仲良く、安全に楽しく過ごしてください。4月の始学式には、また、今日のような元気な顔で、それぞれ新たな場所に集まりましょう。以上で3学期終業式の話をついに終わりにします。

「先が見えない不透明な世の中を生き抜く力をつける」この様な言葉は近年よく聞かれる言葉ですが、2月末に始まったロシアのウクライナ侵攻を目の当たりにし、21世紀の所業とは到底思えない現実に、怒り、嘆き、不条理等で心が苦しい日々が続いています。「コロナ禍」と「戦争」という未曾有の出来事の渦中にある私たちは、いったい何ができるのかを考える日々です。こう考えている今も、時は刻々と過ぎていきます。コロナ禍であっても、戦禍であってもまずは目の前にある自分が取り組むべきMissionを見極め、誠実に取り組んでいきたいものです。

「全ては中込中学校の子どもたちの笑顔のために」、「生徒も先生も明日も早く行きたいと思う学校づくり」の思いは変わりません。

今年度1年間本当に様々なご支援、ご協力ありがとうございました。気持ちを新たに新年度も全職員情熱をもって取り組んでいく所存です。引き続きご支援ご協力をよろしくお願い致します。(文責：大西孝一)

佐久市立中込中学校
*ご意見、ご要望、お問い合わせなどは、下記までお寄せ下さい。
TEL 0267-62-0725
Fax 0267-62-2876